Going

「Going」は周年を迎えたり、新たな展開に向けて節目を迎えた企業・団体を紹介する広告シリーズです。

細木病院「ほそぎハート循環器」開設1周年

心臓・血管をトータルケア

高知市中西部に立地し、地域に密着した診療を行う「細木病院」（高知市大膳町）。心臓病の早期発見、治療、予防を目的として昨年開設した、心臓カテーテル治療と心臓リハビリの専門施設「ほそぎハート循環器」が1周年を迎えた。県内でも心不全や虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞など）の患者が増える中、「心臓・血管のトータルケア」を目指す同施設の開設の経緯や特徴などについて、細木病院副院長の細木信吾医師、山本哲史医師、西本美香医師、宮地剛医師、古川敦子医師にお話を伺った。

細木信吾医師

――開設1周年おめでとうございます。施設立ち上げのきっかけなどについてお聞かせください。

細木　細木病院は、私の祖父の代から75年にわたり高知市中西部地域で地域密着型の診療を行ってきました。しかし、この地域では心臓病の専門治療ができる施設がなく、また、全国的にも再発が多い心臓病患者さんへの総合的な予防医療が重要となってきました。

そのため、当院は「心臓・血管のトータルケア」をコンセプトに、心臓病の早期発見、治療、予防を目的とした心臓病治療専門施設「ほそぎハート循環器」を2020年6月8日にオープンさせました。体に負担の少ない心血管カテーテル検査と治療を、さらに心臓リハビリテーション（心リハ）で患者さんごとに適切な予防医療を行い、心臓病患者さんに対してもより地域に密着した医療を行っています。

――施設の特徴について教えてください。

細木　循環器内科の専門の医師と、看護師、理学療法士、臨床工学技士等からなる専任の「ハートチーム」が患者さんの治療をサポートします。心血管カテーテル検査と治療、心臓リハビリテーション、心エコーはそれぞれ専門の医師が担当します。自慢のチームワークとフットワークで「患者さんファースト」の治療、予防に当たります。

また、太陽光を取り入れた明るい廊下の先にある心臓カテーテル室（心カテ室）は、リラクゼーションミュージックが流れる落ち着いた空間で、低被ばくを可能とした最新の血管撮影装置による診療が受けられます。

心臓リハビリテーションでは、「レッドコード」というフルウェーのスポーツ選手が考案した機器やエルゴメーターという自転車を用いて楽しみながら科学的な運動を行います。

山本哲史医師

地域密着で住民守る

正確、迅速に診断して治療

――具体的にどのような病気や症状の方が対象ですか。

山本　病気でいうと、狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈疾患、末梢動脈疾患などです。症状は患者さんによりさまざまで、胸の痛みや圧迫感や違和感、息切れ、足のむくみ、足の痛み、脈が飛んだり乱れたりする動悸、目まい、失神、倦怠感、食欲不振など多岐にわたります。

このような症状と身体所見から病気を疑い、血液検査、心電図検査、脈波（ABI）検査、エックス線写真、心エコー、コンピューター断層撮影（CT）、磁気共鳴画像装置（MRI）、血管造影検査などから適切な検査を行い、正確にかつ迅速に病気を診断し治療を行っていきます。

――治療はどのような方法になりますか。

山本　狭心症、心筋梗塞、心不全は生活習慣病が原因となることが多い病気です。正しい生活習慣に戻しながら、適切な薬物治療が基本となります。しかし、急性心筋梗塞など緊急を要する病気の場合には心臓カテーテル治療を先行します。

狭心症や末梢動脈疾患も心血管カテーテル治療を適応します。心房細動などの不整脈にも積極的に心臓カテーテル治療を行います。心房細動による脳梗塞を予防するのみでなく、血液をサラサラにする薬などを減量、中止できるメリットがあります。脈が遅くなる不整脈には恒久的ペースメーカー埋め込み手術を行います。1～2時間程度の手術ですが、通常よりも清浄度クラスを高く設計した心カテ室で手術ができるため、手術時の感染を抑えます。

カテーテル治療や手術の後にも、適切な内服治療を行い、心臓リハビリテーションによる生活習慣の改善、生活の質の向上を目指して、病気の再発を予防していきます。

24時間体制で患者受け入れ

――カテーテル治療について詳しく教えてください。

宮地　狭心症や心筋梗塞を引き起こす冠動脈病変に対する治療は、かつては全身麻酔で開胸し、患者さんごとに最適な心リハ計画を立てます。

――どのような患者さんが心リハを受ければよいですか。

西本　狭心症や心筋梗塞、慢性心不全や心臓血管手術を受けた後の患者さんです。動悸や息切れがあって日常の活動に不安があったり、生活の改善が必要だけれども自分一人で食事、運動、禁煙ができないと感じている患者さんも対象です。心電図モニターを見ながら運動をするので、不整脈も見つけやすい環境となっています。私たちが心臓病の再発を予防していきますので、まずはお気軽に担当の医師に相談してください。

――心エコー検査について教えてください。

古川　息切れ、胸の痛みやむくみ、検診で高血圧や心電図異常を指摘された方など、循環器内科で心臓の検査を受けるほとんどの患者さんに行われる検査です。身体への影響がない超音波を用いて心臓の状態を調べます。

――実際にはどのように検査が行われますか。

古川　心臓の動きや機能、弁膜症や生まれつきの構造異常など多くのことを一度にくまなく調べるので、30～50分程度と少し時間がかかります。検査精度向上のために臨床検査技師と超音波専門の医師が必ず同席して即時に診断するシステムを構築しています。より詳細な診断をするために、経食道心エコー検査や負荷心エコー検査など特殊な心エコー検査もご提案することができます。

西本美香医師

古川敦子医師

慢性期から再発予防まで

――今後の目指す方向性についてお聞かせください。

細木　社会医療法人仁生会は7月1日で創立75周年を迎えます。新型コロナウイルス感染拡大に当たっては、県民の皆さまに大変ご心配をおかけしましたが、これからも引き続き、循環器疾患の緊急対応から健康寿命の延伸を目指した慢性期管理、再発予防まで幅広く見守っていく医療機関でありたいと考えています。胸の痛み、息切れ、足のむくみなど少しでも気になることがありましたら、悩まずに当院（電話088・822・7211）までご相談ください。

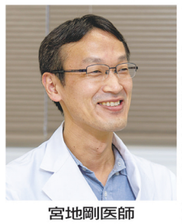
細木病院ホームページ（https://hosogi-hospital.jp/）

対象となる病気、症状

病気	症状
・狭心症 ・心筋梗塞 ・心不全 ・不整脈 ・大動脈疾患 ・末梢動脈疾患 など	・胸の痛み ・圧迫感や違和感 ・息切れ ・足のむくみ ・足の痛み ・脈が飛ぶ ・脈が乱れる ・動悸 ・目まい ・失神 ・倦怠感

開設1周年を迎えた心臓の専門施設「ほそぎハート循環器」（高知市大膳町）

心臓カテーテル検査（冠動脈造影中）



宮地剛医師

企画・制作／高知新聞社営業局
令和3年6月8日高知新聞掲載